

義太夫

義太夫協会会報
第59号

平成6年8月1日
社団法人 義太夫協会発行
〒104 東京都中央区銀座
6-18-2 新橋演舞場B2
TEL (3541)5471

奄美大島に旅して

義太夫協会会長 田 辺 秀 雄

私はこの三月の下旬に奄美大島へ旅行した。実は戦前からこの島の独特な音楽には関心があって一度訪ねて調査をして見たいと思っていたのだが、沖縄には何度も行ったのに、交通の便が悪く、また機会にも恵まれなかった。ので、つい伸び々々になつて来た。それが急に正月になってから大島の民謡保存会から名指しで元文化庁の調査官だった高橋秀雄氏と共に依頼があって講演を頼まれ、土地の唄や踊りを見て欲しいということになった。これ幸いとお受けしたのだが、各地で大歓迎を受け、音楽や舞踊も特に各地で数十人も集まってやって頂いた。やはり現地直接耳で聴き

目で見、話をきいたり、現地の雰囲気を知ることは大変な勉強になる。

ところで奄美といってもあまり知らない人も多いと思うので一寸説明して置く。ここは九州の鹿児島から南へ沖縄に続く長い大小多くの群島で一番大きく中心となるのが奄美大島である。地図で見ると小さいように見えるが行ってみると中々大きい。冬にも全く雪を知らない熱帯の自然林の生えた島である。

歴史的に見ると、初めは琉球国に属していたが、戦国時代に薩摩の島津氏の琉球攻めで薩摩領となった。明治の廃藩置県で鹿児島県に属し、更に終戦で米軍の軍政下に八年間置

かれ、また鹿児島県に復帰した。ともかく永い間何度も主権が代わり、圧制に悩んだ時期も多い。それだけにこの文化は沖縄と薩摩の両方の影響を受けて独自に発展している。この島の人達は唄や踊りが大変好きで、何人が集まれば必ず三味線をとって彼等の唄遊びが始まる。それは町だけでなく離れた集落でもそうで、その点人口に対する三味線の普及率は恐らく全国一ではなからうか。その三味線は本土のものとは異なり琉球の三味線即ち本土という蛇皮線である。唄は土地の人は島唄と称するが、要するに土地の民謡である。歌詞は島の言葉、これは沖縄の言葉に属し、母音はアイウのみでエはイにオはウに、またキはチに変わる。詞の型は本土が七五系の七七五なのに対して琉球系の八八八六。これに対し音階はというと琉球音階ではなく、本土系である。琉球と本土の間ということをよく示している。島唄は本土や琉球の唄と異なり、音域が広く、高音は裏声を巧みに用いるのが特徴である。しかも中々洗練されているし、内容も土地々の伝説、出来事その他が多く、地域性もあり純粹の自然民謡と言えるもので大変気に入った。

島唄が三味線ものなら、踊り唄は太鼓ものと言われる。一番主なものが各地で踊られる八月踊りというものでこれは本土の盆踊りともいうもの、各家々を廻って踊る。驚くことには、各集落は本当に小さい人口であるにかかわらず、今でも人々は皆踊るのが楽しみで私達は北では佐仁という集落の八月踊りを

大島支庁所在地の名瀬市のホテルで見せて貰ったのだが、集まったのは数十人でこれでは集落は今日は皆留守だねと言わしめたほどである。節田のマンカイという正月の踊りも見せて貰った。これも同じこと。さてこのような踊りの後では、きまって即興的な自由な踊りが急速な唄にのって行われる。始めに六調という熊本県の海の方で踊るもの。続いて天草という鹿児島や長崎の所謂はんや節というもの、最後に天川という沖縄のカチャーシー、これらは今流行りのデイスコの踊りやゴーゴーと似ている。それはまことに楽しいし、見ていると仲間に入りたくなる。

二十数年前に始めて沖縄へ調査に行った時、本島の海岸地帯で女性の白太鼓踊りを見たが、ここでも最後のカチャーシーが楽しくて、彼女らは一年中毎晩でも続けたいと言った。

それはさておき、沖縄でも奄美でも人々は伝統の中に彼等の生活を楽しんでいる。東京に帰ると私はまた本土では伝統芸能が人々の間から忘れかけられていて、学校教育でも放送でも社会全体から次第に先細りになることを心配して、如何に闘うべきかで頭を悩ませなければならぬ。奄美の旅ではほんの少しの間であったが、何か理想境を見た感じであった。そこで伝統芸能を保存するにはどういうことが必要かという質問に対して、貴方方が唄や踊りをこんなに楽しんでやって居られる中は決して滅びない。その楽しみを後進に伝えることが一番ですと言ってしまった。

「心身障害児のための特別公演」
チャリティ(1993.12.22)



大変遅くなりましたが、下記の通り御報告申し上げます。募金は、NHK厚生文化事業団を通じて、心身障害児のために活用されております。御協力有難うございました。

〔報告書〕

会場募金箱	85,349円
協会扱御寄付	78,000円

〔内訳〕

竹本弥乃太夫御一門様	50,000円
中島 古平様	10,000円
松尾 雅子様	5,000円
和田 博様	5,000円
小林とし子様	2,000円
竹本 朝重様	1,000円
竹本 駒之助様	1,000円
竹本 越道様	1,000円
竹本 素八様	1,000円
豊澤 源平様	1,000円
豊澤 源枝様	1,000円

合計 163,349円

*尚、今回もプログラム印刷一切は、高野俊雄氏(女流義太夫後援会)の御寄贈になるものです。

チャリティ公演でラジオ中継されました、
「仮名手本忠臣蔵」
八段目・道行旅路の嫁入」は
八月三日(水)十一時十五分より
NHK・FM放送「邦楽のひととき」
で放送される予定です。

芸団協芸能功労者表彰

竹本駒龍師に

(社)日本芸能実演家団体協議会(芸団協)が、永年芸能文化に功績のあった人々を表彰する、平成五年度の芸能功労者表彰式が、四月二十七日、東京会館で行なわれ本協会から竹本駒龍師が、五月一朗師(浪曲師)・倉林誠一郎氏(演劇制作者)・黒田幸子師(民謡歌手)・村瀬登茂三師(能楽ワキ方)の方々とともに受彰しました。



「竹本駒龍 略歴」

昭和4年 竹本越駒に入門、竹本駒龍となる。
6年 浅草東橋亭にて真打披露。

以後、五世豊澤猿之助・四世鶴澤綱造・竹本春駒等に師事。

38年 鶴澤三生に師事。

49年 社団法人義太夫協会理事

50年 竹本土佐廣に師事。

55年 重要無形文化財「義太夫節」総合指定保持者

今迄、賞には縁がなかったとおっしゃる駒龍さんに喜びを語っていただきました。

受彰おめでとうございます。

何か身に余るものを戴いちゃってね。そりゃうれいですよ。初めてだものね。

女義のために何かと力を尽くしてこられた訳ですから、

古いからですよ。私の場合、只古くからやっていたと言うだけのことよ。

受彰式はいかがでしたか。

もう、あがっちゃってさ。足がぶる／＼ふるえちゃって、私は他の人みたいに挨拶が上手じゃないでしょ。なれないしさ。だから困

ちゃったのよ。

私達は駒龍さんが、何をおっしゃるのかずっとかたづをのんでみてました。

あらそう。

でも、お氣持が伝わってきて後でジーンときてしまいました。

あら、そうだったの。

義太夫を語る時は、いまだに大緊張するといふ師。その緊張ゆえ、回りをハラハラさせてしまいますが、それはそれ、師の素直な人柄に免じて、ついつい笑って許してしまいます。聴く人をして、懐かしく、暖かい氣持にさせるそんな舞台が師の持味でしょうか。

むかしは寄席だけだったから、お客様の中に私達もいつの間にか溶け込んでいたのね。女義は俺達みんなのもんだみだに思ってくれてたわけね。でも私の若い頃は口語りだったから、お客様がほとんどいないころやるわけ、見ると一面ざぶとんばっかり。そこで箱屋さんがいつもの通りチョン！口上はこれでおしまい。そしていつもの通りやるわけよ。でも、毎日だったからね。いい時代でしたよ。どんな時でもきちんと日本髪結ってたもんよ。今の人はポーヤみたいな頭したり、髪の色変えたりしてさ。義太夫やらないならいいけどさ。

エ？

舞台じゃ、みっともないわよ。アンタ。

御叱責ありがとうございます。いつまでもお元気で、女流義太夫の真ずいをお聴かせ下さい。

ぜひ、出させてもらいたいのでぜひ、掛け合

いでも何でも出ますから。

九月公演では、「新口村」の梅川で出演致します。

「歌舞伎竹本らいぶ」を聴く

景山正隆

去る五月十九日(木)の宵、江東区の大橋川畔にある深川座で、「歌舞伎竹本らいぶ」というタイトルのもとに、ライブ形式による歌舞伎の義太夫節「竹本」のコンサートが開かれた。古典空間・深川座企画室による企画・制作で、若手の竹本連中と、応援出演の中村京蔵による、前例がないといってもよい竹本の演奏会である。

独特な雰囲気客席は老若男女入り交じり満員大入りの盛況で熱気に包まれていたが、若い女性が多数を占めて、ここにも近頃の歌舞伎ブームの反映が見られた。

ところで、「竹本」は、もともと歌舞伎の演出に伴う三味線音楽で、本行(文楽)の義太夫節のように、一つの様式として独立した語り物の音楽とはなり得ない。従って、一般には「竹本」だけの演奏会が成り立つとは考えられない。それにも拘らず「竹本」を前面に押し出した演奏会がえて企画されたところに、特別な意義が認められなければならない。

「本日のらいぶメニュー」(プログラム)は、(1) 竹本義太夫作・構成「竹本ゼミナール/俄仕立竹本寸劇/るんるん京子ちゃん」(2) 豊澤瑩緑監修・ミニ歌舞伎「伽羅先代萩より 政岡のくどき」(3) 豊澤菊二郎構成

「太棹メドレー」(4) 竹本喜太夫・豊澤義三郎監修「仮名手本忠臣蔵 道行旅路の嫁入」の四つの演目で構成されており、これを見ただけでも、竹本の歌舞伎におけるさまざまな役割と機能を、実例によって観客に知って貰おうという意図が明確にうかがえたことはいうまでもない。

(1)は、彼氏とのデートに出かけた京子ちゃん(中村京蔵)の言動を義太夫狂言風の寸劇に仕立てて、マクラ・呼び・カン弾き・アテブシ・カラニ・ポテチン・クリ上ゲ・四つ間・中落シ・色めきのメリヤス・キオイ三重など、義太夫狂言の演出に欠かすこと出来ない竹本独自の代表的な機能を、応援出演の中村京蔵と、竹本東太夫、鶴澤宏太郎の実演により、作・構成の竹本義太夫が、演者への質問も交えてわかりやすく解説するもので、「竹本入門」といった鑑賞教室の趣向で、観客の興味を十分に引き付けていた。

(2)は、竹本谷太夫と鶴澤宏太郎の竹本による、中村京蔵が、師匠の中村雀右衛門丈直伝の政岡のクドキを熱演した。いわば(1)の応用編である。

(3)は、鶴澤宏太郎・豊澤菊二郎・鶴澤慎治による太棹の合奏による、竹本によく用いられる各種の旋律型のメドレーである。「ソナ

へ」に始まり、お馴染みの「野崎村」のツレ弾きも含まれる凡そ十五分にわたる演奏は息も合ってなかなかのものであったが、これも(1)の「竹本ゼミナール」と同様に「メリヤス」など太棹の竹本独自の機能についての解説があってもよかつたのではないかと思われた。

(4)は、竹本谷太夫・竹本朋太夫・竹本東太夫・竹本道太夫・豊澤菊二郎・鶴澤慎治・鶴澤宏太郎による「道行旅路の嫁入」の演奏である。竹本には舞踊の地(伴奏音楽)としての機能のあることを示すものであるが、若々しく華やかな演奏で、初めてのライブコンサートの末尾を飾るのにふさわしいものとなった。

若手竹本連中の生き生きとした演奏ぶりももとより、舞台と一体となった客席の反応も含めて、とにかくへたのしいライブコンサートであったが、同時に、私は、実にへたのもしい〜という印象を受けた。それは、最初に触れたように、本来なら成立しない筈の「竹本」の演奏会を実現させた「古典空間」と「深川座企画室」の企画に乗った若手の竹本連中の、自分たちの職分に対する並々でない意欲が感じられ、また、出演者一人一人の技芸の向上をめざす真剣な取組み方が十分にうかがえたからである。

かつての一時期、竹本連中の高齢化・他界・世代の断層などのために、「竹本」の後継者難の問題はかなり深刻であった。それは今も全く解消したとは言いが切れないが、今回のような、ある意味で画期的ともいえる「竹本」

の演奏会が催されたということは、「竹本」の将来に明るい見通しを持たせてくれたといってもよい。

ところで、歌舞伎の演出と密接に関わる「竹本」は、ある意味で本行の義太夫節よりも難しい演奏技術が要求される。私は、「竹本」も、基礎には、本行の義太夫節がしっかりと腹に入っていないければならないと見ている。特に今回「道行旅路の嫁入」の演奏を聴いてそのことを痛感した。いわゆるへちよぼへとしての「竹本」は、原則として、役者がせりふで言う義太夫節の「詞」の部分の語ることではないが、土台に「詞」を語れるだけの力量が備わっていないければ、役者のせりふやしぐさとの受け渡しも満足には出来ず、「地」「地色」や「色」も語れないのだと思う。その点では本行の義太夫節を習得する稽古の厳しさとは何ら相違はなく、その上、「竹本」特有の技法を、歌舞伎の諸要素の熟知とともに習得しなければならぬのであるから、「竹本」の太夫・三味線は、並大抵の修業ではなかなか一人前になれないのではないかと思う。

その意味で、今回のような「竹本」のコンサートが実現したことは、今後の歌舞伎のためにへたのもしい限りなのである。ますます技芸を磨く一つの場として、今回のような演奏会の回を重ねることを期待したい。

この機会について一言付け加えておく。仄聞するところによると、竹本連中の中に、床に上がる時の身仕度の上で最も肝要な腹帯を締めない人がいるように聞いているが、と

んでもないことである。今度の「らいぶ」に出演した人たちには、まさかそんな人はいなかったと確信しているのであるが……。

(義太夫協会幹事)

義太夫協会の諸事業の予定を前号でお知らせいたしました。「女流義太夫演奏会」の日程・会場に変更がございます。

10月23日(日) ↓ 10月22日(土) 6時30分

(於) 国立演芸場

11月20日(日) ↓ 11月22日(火) 6時30分

(於) ブティストホール

12月公演は休演 ↓ 12月22日(木) 6時00分

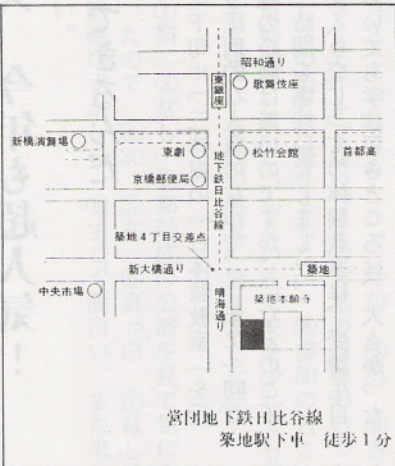
(於) ブティストホール

「ブティストホール」

中央区築地3-15-1

築地本願寺 第一伝導会館内

03-3248-0798



計 報

■ 久井田辰男氏

平成5年12月14日逝去

本牧亭のピラ字のおじさん。女義のプログラム・ポスターの字は久井田さんの字です。享年89才。

■ 竹本染登(本名一多田キリ)

平成6年2月16日逝去

重要無形文化財総合指定保持者 享年98才。

■ 竹本駒若(本名一松本遊亀)

平成6年2月23日逝去

享年88才。

■ 鶴澤金吾(本名一涌田きく)

平成6年3月20日逝去

重要無形文化財総合指定保持者 享年94才。

御冥福を心よりお祈り申し上げます。

祖 先 祭

初代竹本義太夫の命日(正徳4年9月10日)に因んで、初代義太夫ほか先人の墓参・法要ならびに懇親会を行います。お誘いあわせ御参加下さい。

記

* 平成6年9月24日(土) 11時~1時

* 両国回向院(三六三四) 七七七六

* 参加費一、〇〇〇円

* お申込みは9月21日までに事務局へ

一日体験シリーズ 今年も超人気!

やれば、できるんだ

四月中旬に「義太夫の一日体験教室」下旬に「三味線の一日体験教室」を行ないました。早々と定員に達するという圧倒的な人気のなかで、「年に一回だけなんですか。」「東京以外では、同様の企画は無いのですか。」などのご不満の声を心を鬼にして振り切り、各々二時間を堪能いたしました。

十代から八十代まで、まさに老若男女入り交じったの体験教室は、受講生自身「義太夫」、「三味線」以外の面においても学ぶべきところは、大きかったようです。ただし、心頭滅却しても足はしびれるという教訓は、皆一様に会得され、まずは正座の訓練から：

「やってみませんか」というおさそいに「語ってみました」「弾いてみました」と。以下は、受講された方々の感想です。
しばらくは続きそうなこの人気、充実した教室にするには、まだまだ一考も二考も必要かと、考えさせられた一日でした。

(会場は、いづれも演舞場スペース・アルファ)

「義太夫(語り)の一日体験教室」
平成6年4月17日
『壺坂観音霊験記 壺坂寺の段』
講師―竹本 朝重

参加者41名(男10名・女31名)
アンケート解答39名(男10名・女29名)
*義太夫を語るの は 初めて39名 経験あり0名

- *他の経楽の経験が ある11名 なし28名
- | | | | |
|-----|--------|---------|--------|
| *年代 | 10代―1名 | 20代―13名 | 30代―9名 |
| | 40代―7名 | 50代―4名 | 60代―1名 |
| | 70代―2名 | 80代―1名 | 不明―1名 |
- 以下、設問順に答えて頂きました。
- ①義太夫を語るの は
 - ②他の邦楽の経験が
 - ③一日体験に参加の動機
 - ④年代
 - ⑤性別
 - ⑥これまで義太夫に対して持っていたイメージ
 - ⑦体験して、そのイメージがどう変わったか
 - ⑧感想

①初 ②あり「箏」 ③義太夫の太棹の音が好き。あの語りを体験してみたかったので
④10 ⑤女 ⑥若手が少ない世界 ⑦同じ邦楽でも箏とはかなり違い、やはり「語り」であると実感した。 ⑧二時間も正座している事は滅多にないので大変だったが、それも合わせて良い体験教室だったと思う。

①初 ②なし ③興味があつたので ④20
⑤女 ⑥おじさんくさい ⑦変わらぬ ⑧先生がとてもわかりやすく教えて下さったので楽しかった。でも、足がしびれて…ちょっとキツかったです。ありがとうございます。

①初 ②なし ③声をはりあげてみたかった
④40 ⑤男 ⑥文楽を見に行っても人形ばかりに目が集中していたが、太夫が語らないと人形が動かないと聞いた。 ⑦セリフの一言一言にイメージをわかせて語っていく難しさに驚いた。 ⑧二時間では語り尽くせないものがあるようだ。勉強になりました。

①初 ②なし ③古典芸能に興味があり、「教師のための義太夫講習会」で数回聞かせていただいたのがきっかけです。 ④50 ⑤男
⑥語りの内容(言葉も含め)が分からないので、うなりが多い表現方法だと思っていた。
⑦内容を表現する語り方があるものだと知った。 ⑧結構な企画です。もっと早く参加したかった。

①初 ②なし ③新聞を見て、以前から機会があったらやってみたいと思っていた。④30 ⑤女 ⑥シブイ 聞いていても何を云っているのかよくわからない。⑦わかりやすい日本語なんだと思いました。もっと難しいのかと思っていました。⑧一日だけ、二時間だけでは物足りないと思います。

①初 ②なし ③以前から興味はあったのですが、実際に触れる機会がありませんでした。ある読物で鶴澤寛也さんの記事を読み、義太夫協会の存在を知った事が直接の動機となりました。④20 ⑤女 ⑥人情・古典・難しい。(戦前の時代設定のテレビドラマでチラッとみたり、太宰治が若い頃習っていたというエピソードを知っている程度だったので本当はイメージすら抱けないというのが正直なところです。)⑦ちゃんと物語があるんだということを知りました。ただ難しいだけでなく、素人でもやればやれるもののような気がしてびっくり。⑧面白かった。声を出して気持ちよかった。また是非やりたい。

①初 ②なし ③体験することにより、文楽を見る時に、よりおもしろくなるのではないかと思ったから ④30 ⑤女 ⑥見るもの、聞くものと思っていた。自分が参加(体験)できる世界とはほど遠いと思っていた。⑦今迄はなんとなく聞いていたが、各部分をどんな気持ちでいっているのか、又云おうとしているのか、ということにも興味を持ってそうなる

がする。⑧「三味線の音を間近に声を出す」という、とても貴重な体験が出来た。今日の体験を今後の文楽鑑賞に生かしたい。

①初 ②なし ③文楽の講義を受けており、先生のお進めによる。④50 ⑤女 ⑥難しく、判りにくい。⑦益々難しく感じますが⑧感情表現が非常にリアルで、判り易いのですが、語り方が自分ではできないように思われた。

①初 ②なし ③腹の底から声を出す方法(コツ)を教えてくれるという期待から。④70 ⑤男 ⑥浪花節(綾太郎)の中で義太夫節が語られていたという程度です。⑦語り芸だということが分かりました。⑧息の止め方が難しい。

①初 ②あり「清元15年」 ③義太夫のボリユウムにふれてみたい。④70 ⑤男 ⑥古くさくてイキでない。⑦言葉の意味のむつかしさの語りに驚きました。⑧参加の皆さん短時間にこのむつかしい義太夫を少しでも覚えて頂く、現代の感覚に驚きました。

①初 ②なし ③都助成の公演を見て気に入ったので ④30 ⑤女 ⑥真っ白 ⑦はじめ結構はずかしい ⑧すごく面白い、また来た

い。①初 ②あり「小唄15年」 ③どんなものか

知りたくて ④80 ⑤男 ⑥無記入 ⑦無記入 ⑧日常の雑念から離れられ楽しいひと時でした。日曜日だったので助かりました。

①初 ②あり「能」 ③女流義太夫の案内で④50 ⑤男 ⑥前に女流義太夫を聞きよいイメージを持っている。⑦何気なく聞いていた曲の中に、これ程複雑な思いがかくされていたのかと驚いた。⑧先生がすばらしい。短い時間に完璧に要点を教えてくださいました。時間が足りないで、通してうたうことが出来ずに残念でした。



「三味線の一日体験教室」

平成6年4月24日

講師 鶴澤 津賀寿

参加者 2クラス合計60名

(男11名 女49名)

アンケート回答58名

(男10名 女48名)

*三味線を弾くのは 初めて50名 経験あり

8名 前回受講した0名

*三味線以外の楽器の経験が ある33名 な

し25名 無回答2名

*年代 10代 2名 20代 23名 30代 16名

40代 9名 50代以上 3名 無回答 1名

以下、設問順に答えて頂きました。

①三味線を弾くのは ②他の邦楽の経験 ③

三味線以外の楽器の経験 ④年代 ⑤性別

⑥太掉のイメージ ⑦感想

①初 ②なし ③ピアノ ④20 ⑤女 ⑥静

かな雰囲気の中で聞くと、気持ちよくなって

眠りの世界に引き込まれてしまいます。⑦

一つの音をきれいに出すのがこんなに大変な

事だというのがよくわかりました。今度から

義太夫の聞き方が変わってくると思います。

①初 ②なし ③ピアノ ④10 ⑤女 ⑥ど

ろん、どよんといった音の感じで、井戸、柳

とか、それも闇夜を連想する。⑦もっと時

間があればいいと思うほど時間の経つのがはやく、夢中でした。バチがちゃんと持てたらもっと楽しいと思いました。

①初 ②ある ③箏 ④20 ⑤女 ⑥やはり

日本海が似合うと思います。京都のはんなり

としたイメージではないですね。⑦以外と

野太い音に驚きました。歌舞伎のときも、ダ

イナミックな音なのですが、やはり十一弦や

十七弦とあわせるのと、三弦だけなのは、

イメージが違うなあと思いました。

①初 ②なし ③ピアノ ④30 ⑤女 ⑥人

間的。感情を表現できる音。NHKの新八大

伝のテーマソングが、太掉を聞いたはじめで

した。⑦とりあえず、少しでも三味線に慣

れることが出来たように思います。三重がち

ゃんと弾けるのはいつの日かと思えます。

①初 ②なし ③ピアノ ④20 ⑤女 ⑥格

好良い！腹に響く所が何とも言えません。

⑦あつという間の二時間で、三味線に触れた

だけという感じでしたが、三味線弾きの方々

はこの何万倍もの苦勞と練習を重ねてああい

う風に弾けるようになるものですね。

①初 ②なし ③ホルン・クラリネット ④

20 ⑤女 ⑥いろんな音が混ざって出て、そ

れを、わざと出るように作ってあるっていう

のは、日本人の不思議な美的センスだと思っ

た。⑦足は痛いし、指は痛いし、よくできる

など感心します。三味線を弾く機会なんかないので、いい体験をしたと思う。

①初 ②なし ③ピアノ・クラリネット・ギ

ター ④30 ⑤女 ⑥古風。そこがカッコイ

イ。⑦親切に楽しく教えていただけでとて

も良かったです。先生がきれいで素敵です、

が現代的で着物に慣れてる方のように見えな

いのがおもしろいですね。

①初 ②なし ③ピアノ ④20 ⑤女 ⑥し

ぶい ⑦邦楽器に実際触れるのを初めて体験

できてよかった。日本人なのに、何もわから

ないままではいたくなかったなので、今回のよ

うな機会はとてもよかった。

①初 ②なし ③なし ④20 ⑤女 ⑥低く

て、大きい音のイメージ。地響きとか海鳴り

とか。⑦足はしびれるし、腕はふるえるし、

指は痛いし、思った以上に大変だったけど、

思った以上にもしろかった。あの「びーん」

という音が自分の撥から鳴ったときは、わあ、

うそみたい、と思った。



協会の動き

「平成五年度」

'94 '94
年 年
7 1
月 月
ま 更
で

1月12日 芸術文化振興基金平成六年度助成
金交付要望書提出

1月13日 理事会 於銀座丸の内ホテル

13日 公演部会 於銀座丸の内ホテル

1月22日 正会員・役員新春挨拶交換会

於国立第一研修室

22日 新人正会員オーディション

於国立演芸場

22日 女流義太夫演奏会初春公演(芸術
文化振興基金助成) 鶴澤三寿々

寿々香・津賀榮・津賀洋・眞美

(竹本駒之助門下) 初舞台

於国立演芸場

三味線奏者の減少が心配されている折、一
拳に五人ものプロデビューは、初春公演ふさ
わしいおめでたい話題である。三寿々(43)
寿々香・津賀榮・津賀洋(44)・眞美(38)いず
れも教室出身。五人に寄せる期待は大きい。
中段写真は、舞台を前に師の駒之助と。

() は教室卒業期



(写真提供 邦楽ジャーナル)

2月1日 演舞場福荷初午祭

2月13日 公演部会 於于士会館

2月22日 第13回伝承者研修発表会(義太夫
節保存会主催、義太夫協会後援、
文化庁・東京都助成)

2月26日 義太夫教室OB演奏会(第46期生
卒業発表会(義太夫教室OB会主
催、義太夫協会後援) 全24高座

於東京証券会館ホール

3月14日 義太夫教室第46期上級コース修了
式 於演舞場スペースアルファ

3月17日 第13期竹本研修修了発表会・第13
期歌舞伎俳優研修生・第9期鳴物
研修生発表会 於国立小劇場

3月18日 平成六年度民間芸術等振興費補助
金交付要望書提出

3月22日 公演部会 於国立演芸場

3月28日 女流義太夫演奏会(芸術文化振興
基金助成) 竹本佳之助芸団協助成
新人奨励賞受賞記念。開演前舞台
にて表彰式を行なった。

3月29日 理事会 於国立演芸場

3月29日 義太夫節保存会平成5年度文化財
保存事業実績報告書提出

3月30日 平成5年度民間芸術等振興費補助
金実績報告書提出

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

3月30日 於文明堂

〔平成六年度〕

4月10日 平成5年度芸術文化振興基金助成事業(女流義太夫演奏会)実績報告書提出

4月17日 義太夫(語り)の一日体験教室
講師―竹本朝重

4月22日 女流義太夫演奏会「故鶴澤寛八師を偲ぶ」挨拶―田辺秀雄
於国立演芸場

4月23日 NHKFM「邦楽百番」で昨年十二月公演「忠臣蔵・七段目」放送
三味線の一日体験教室(全2回)
講師―鶴澤津賀寿

4月27日 平成6年度民間芸術等振興費補助金に関する事情聴取 於文化庁

4月29日 平成5年度東京都文化財保存事業費補助金の額の確定通知
平成5年度文化財保存事業費国庫補助金の額の確定通知

5月10日 公演部・ひとみ座・国立演芸場打合せ
於国立演芸場

5月15日 二代松尾武市追善浄瑠璃会 義太夫協会後援 於白鳥会館
5月19日 竹本らいぶ(4頁参照) 於深川座

「空前絶後なるか/竹本らいぶ」と銘うっての初めての試み。果たしてその成果は?



5月19日 平成5年度芸術文化振興基金助成金の額の確定通知(3月31日付け)

5月20日 普及部会 於文明堂

5月22日 女流義太夫演奏会「鶴澤重輝文化庁長官表彰受彰記念」 於国立演芸場

5月23日 義太夫教室第46期初級入門コース開講 52名受講
於演舞場スペースアルファ

6月21日 東京都教育委員会「業務及び財産の状況に関する検査」

6月22日 教師のための義太夫講習会「豊後系浄瑠璃の道成寺もの」話―竹内道敬 特別出演―八王子車人形・西川古柳座 於国立演芸場

6月24日 定例理事会 於文明堂

芸団協総会 木下事務局員出席 於東京会館

6月30日 平成5年度民間芸術等振興費補助金(青少年等芸術普及)額の確定通知(4月28日付)

6月30日 平成6年度芸術文化振興基金助成金交付内定通知(6月27日付)

7月1日 平成6年度文化財保存事業費国庫補助金の内定通知

7月2日 義太夫協会通常総会 平成4年度事業報告・収支決算報告、平成5年度事業計画・予算案を審議、原案通り可決した。

7月12日 平成6年度文化財保存事業費国庫補助金交付申請書提出

7月22日 女流義太夫演奏会「豊澤源平叙勲記念」 於国立演芸場

8月1日 義太夫協会会報第59号発行



「短 信」

* 国際交流基金による実験的な企画、「能・文楽・歌舞技の競演」が、七月七日〜十九日までウイーンを始めとする欧州四か国で、開催。本協会事務局長でもある、竹本綾太夫氏が歌舞伎・竹本連中を代表して参加中。次号では、その成果（珍談・奇談 etc.）をご報告いたします。乞うご期待！

* 「第62回祈の会セミナー」かぶきはともだち

竹本朝重・鶴澤津賀寿出演

八月二十七日（土）午後六時半より

（於）天王洲アイル

スフィアメックスホール

☎五五六五―一五五〇

* 第三回 竹本越孝の会

八月三十日（火）午後六時半より

（於）四谷倶楽部

☎三三五三―八五〇九

* MIDNIGHT 素浄瑠璃

竹本越若・鶴澤津賀寿出演

九月三十日（金）

午後八時十五分より

（於）ACT・SEIGEI-THEATER

☎三九八三―九七五六

詳細は、協会まで。

〈寄 贈〉

財団法人江戸東京歴史財団・

東京都江戸東京博物館様

江戸東京博物館総合案内

家康の遺産展図録

江戸東京博物館案内パンフレット

江戸東京たてもの案内パンフレット

鶴澤義三郎様

鶴澤宏太郎様

鶴澤 登緑様

八木原あやめ様

邦楽ジャーナル様

杉崎まつ様ご遺族

初春公演写真

どうも有難うございました。

〈訂 正〉

58号5頁 景山正隆様 叙勲

（誤）勲四等双光旭日章（正）勲四等旭日小綬章

住所 鶴澤津賀洋様

58頁12頁

（誤）矢部町121（正）矢部町21

住所 竹本素丸様

（誤）33123（正）33110

住所 鶴澤重輝様

（誤）仰木町（正）仰木の里

右、お詫びして追加訂正いたします。

おねがい

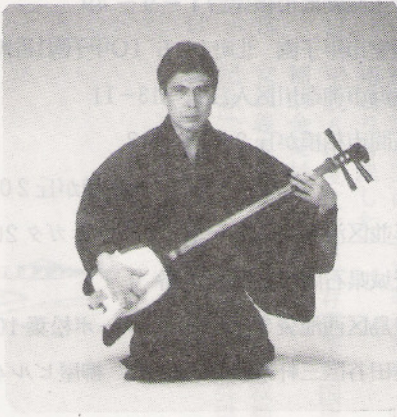
編集部では、記録用写真を撮影して下さる方を募集致します。演奏会・体験教室・祖先祭等のイベントに参加できる方で、自薦・他薦を問いません。我と想われる方は、事務局気付け編集部まで、ご一報下さい。

□新職員御紹介

本年一月より、木下真梨子さんが新しくスタッフに加わりました。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。（いまだに、花よりだんご…）

□お役に立ってます。（秘蔵写真より）

松本幸四郎さんの手に 義太夫の三味線が！



編集後記

暑中お見舞い申し上げます。

昨年に続き冷夏になるのでは、という予報に反し、観測記録をぬりかえんばかりの連日の猛暑。何はともあれ、身体が資本の関係者、おのずと摂生できるのでは…くれぐれもお大切に。